



清掃だより 110

平成23年10月15日 福生市 生活環境部 環境課ごみ対策係

ご意見・問合せ ☎042-551-1731

〈平成22年度標語コンテスト入選作(小学校4年生~6年生の部)竹村 和真さん(第6小学校)〉

ごみの散乱防止と3R

(リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再生利用) を進めるためのポスター・標語コンテストの入選作品決定!

市内の小中学生の皆さんから、ごみに関するポスターと標語が寄せられました。福生市廃棄物減量等推進員の厳正な選考の結果、以下の皆さんが入選しました。

入選された作品は、各種広報(清掃だより、ごみ・リサイクルカレンダー、マグネット等)でごみ減量PRのため使用します。 ごみに関するポスター・標語の全応募作品を展示します。

期間 10月24日(月)~11月5日(土)

■場所 福生市役所(第2棟1階北側入口前)

△ポスター部門

小学生(1年生から3年生)の部



一席 (七小2年) 原田 健正

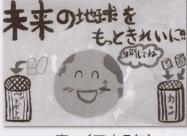


二席 (六小2年) 石井 涼音



三席 (五小2年) 塚野 未菜海

小学生(4年生から6年生)の部



一席 (四小5年)森田 真由



二席 (三小6年) 大野 舞代

今回、各作品の中から一席に選出された作品を、関東甲信越静環境美化推進連絡協議会が主催する平成23年度ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテストの東京都の選考会(東京都環境局)に福生市から推薦します。

▲ 標語部門

小学生(1年生から3年生)の部

一席 (一小2年) 木谷 心咲 マイバッグ でかけるときは わすれずに 二席 (七小2年) 原田 健正 ポイすては してはいけない ぼくのまち

小学生(4年生から6年生)の部

一席 (四小5年) 河村 凌平 限りある 資源のために リサイクル 二席 (一小4年) 木谷 光希 リサイクル 一人一人の 心がけ 三席 (六小5年) 竹村 和真 ポイ捨ての ない街いい街 いい空気

中学生の部

- 席 (二中3年) 河村 菜月 - 度だけ… その投げ捨ても 見られてる



10月30日開催 福生ふれあいフェスティバル

10月30日(日)市営福生野球場で福生ふれあいフェスティバルが開催されます。 ごみ対策係では、ごみの分別クイズに答えてくださった方に、景品をご用意しています。その他、ごみの分別方法などお困りのことがありましたら、この機会にご相談ください。皆さんのご参加をお待ちしています。

ごみを減らして資源を増やそう 平成22年度福生市のごみ量と総資源化率をお知らせします

◆ごみ処理の実績と推移

福生市では、平成14年度からごみの有料化を実施し、16年度から硬質プラスチックの収集を開始し、18年度から容器包装プラスチックの分別を開始しました。

19年度には、燃やせるごみの協同処理をおこなう西多摩衛生組合の構成市町である、福生市、青梅市、羽村市、瑞穂町で燃やせるごみの統一化を図り、資源化できないプラスチック類、ゴム製品等を燃やせるごみとしました。ごみ処理量については市民の皆さんのご協力のもと、次のグラフのように減少し、22年度は16,955トン(21年度は17,621トン)でした。

◆ごみの総資源化率

総資源化率とは、1年間に集めたごみ等(資源回収を含む)が資源として処理された割合をいい、平成22年度は37%(21年度は36.9%)でした。

総資源化率=総資源化量(6,810トン)÷{総ごみ量(16,955トン) +集団資源回収量(1,437トン)}×100=37(%)

総資源化率が上がった要因としては、第一に容器包装プラスチックの資源化があげられます。18年4月から容器包装プラスチックの分別収集が始まり、22年度は521トン(21年度は500トン)が資源として回収されました。

第二に、18年7月から東京たま広域資源循環組合(日の出町二ツ塚処分場)において、燃やせるごみの焼却灰がエコセメントの材料として再利用され、焼却灰の埋立処理がなくなったことがあげられます。

22年度に資源化された焼却灰の総量は1,046トンでした。

◆ごみ処理の費用

平成22年度のごみ処理にかかる費用は約14億円でした。その中で、燃やせるごみを焼却する西多摩衛生組合への負担金として約6億4千万円を支払いました。これは3市1町(福生市、青梅市、羽村市、瑞穂町)の燃やせるごみの搬入量によって計算された金額です。この他に、燃やせるごみの焼却灰や埋め立てごみの最終処分場である、東京たま広域資源循環組合への負担金として、約1億4千万円支払いました。この負担金は、多摩地区26構成市町のごみの搬入量等によって計算された金額です。

一方、収入については、指定収集袋の売上約9千万円を含む、ご みの処理にかかる手数料として約1億6千万円、資源の売上は約4 千万円、総額約2億円の収入がありました。

ごみ処理実績と総資源化率の推移 (平成14年度~22年度) 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 17 14 15 16 18 20 20,373 20,556 20,372 20,055 19,109 18,337 17,621 16,955 ごみ処理実績(t) 19,776 総資源化率(% 31.5 29.8 37.2 37.0

平成22年度 ごみ処理にかかる費用

(単位:円)

		収	入		支 出	
内	訳	ごみ処理 手数料	資源売上金	西多摩衛生組合 負担金	東京たま広域資源 循環組合負担金	その他
金	額	156,038,160	42,870,321	643,168,000	142,950,000	634,372,230

燃やせるごみを減らすために



生ごみはよく水分をきってから捨てましょう。

熱効率があがるため、焼却にかかる時間や燃料を節約できます。



紙類は、できるだけ雑がみとして出しましょう。

指定収集袋を使わずにひもでしばったり、雑がみは紙袋で出すことができます。



食品などの容器や包装は、小さなものでも容器包装プラスチックなどの資源として出しましょう。

ごみを減らし、資源化率を高めることができます。



回収拠点に持っていく資源ごみを増やす。

お買い物のついでに直接持っていけば、手間がかかりません。

燃やせないごみを減らすために



ゴム類、革類なども燃やせるごみとして出してください。

・燃やせるごみは、焼却した灰を原料としたエコセメントに変わり、再 利用されます。



プラスチック製品や容器包装プラスチックは、できるだけ資源ごみとして出してください。

プラスチックのみで出来ている製品は、再利用されます。 ※必ず、洗ってから出してください。

捨て方がわからない場合は、 ごみ対策係までお問い合わせください。